

2015年度 後期			リフレクションペーパー				
学科名	電気通信工学科・情報学科						
科目名	ゼネラル英語Ⅱ						
科目区分	リテラシー科目		単位数	1		開講時期	Ⅱ
必修・選択の別	選択必修						
担当者	肥川 絹代						
授業の到達目標 (シラバスから)	・リサーチ力をつける。(A5) ・プレゼンテーション力をつける。(A5) ・コミュニケーション力をつける。(A5) ・パワーポイントの使い方の習得。(A5) ・スライドの作り方の習得。(A5)						
日程と内容	第1回 導入講義：授業の進め方と概要の説明、成績評価法。Topic: Summer vacation 第2回 Project 1 “Introducing Yourself”: Step 1 第3回 Project 1 “Introducing Yourself”: Step 2 第4回 Project 1 “Introducing Yourself”: Step 3 第5回 Project 1 “Introducing Yourself”: Presentation 第6回 Project 2. “News Digest”: Step 1 第7回 Project 2. “News Digest”: Step 2 第8回 Project 2. “News Digest”: Step 3 第9回 Project 2. “News Digest”: Presentation 第10回 Project 2. “News Digest”: Presentation 第11回 Project 6 “Talking about Your Future Plans”：Step 1 第12回 Project 6 “Talking about Your Future Plans”：Step 2 第13回 Project 6 “Talking about Your Future Plans”：Step 3 第14回 Project 6 “Talking about Your Future Plans”：Presentation 第15回 Project 6 “Talking about Your Future Plans”：Presentation Presentation						
成績評価基準	定期試験 臨時試験 報告書・レポート 課題 演習		30% 30%	実技 部外評価 プレゼンテーション 計		40% 100%	
授業到達目標の達成度	概ね達成できた。特に、リサーチ能力は、かなりついたのではないと思われる。プレゼンテーション能力に関しても、数名ではあるが、かなり上達を見せた学生もいた。学生が作成したパワー・ポイント、スライドにも工夫が見られた。						
反省点	半期で英語によるプレゼンテーション3回を義務づけいたしました。資料の調査の後、トピックに沿って整合性をもったプレゼンテーション(英語)に仕上げていきました。早く準備が終わった学生は教室内で、リハーサル等ができた一方、発表の練習が十分ではない学生も見受けられた。						
来年度の計画	卒論研究発表の場でも、社会に出ても求められるプレゼンテーション力。それに加え、近年のグローバル化に伴い、英語によるプレゼンが、今後必要とされることは明らかである。来年度も英語によるプレゼン能力を高めるよう指導していきたい。プレゼン作成のみならず発表の練習をする時間ももうけたい。						
授業評価アンケートに対するコメント	概ねいい評価である。どの学生も、自分の能力を精一杯に出してくれたと思う。特に「プレゼンテーションの作成、発表という未曾有の体験ができ、よい糧となった」というコメントは目を引くとともに、教員にとっても、刺激となった。						
履修登録者数	19 名	定期試験 受験者数	15 名	合格者数	15 名	合格率	100%